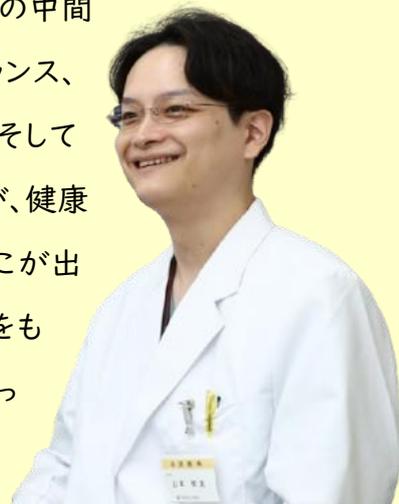


【医療コラム】

より若々しく、より健やかに

～泌尿器科がお手伝いできること～

健康長寿のためには、肥満にならないよう気をつけるほか、健康と要介護の中間の状態を指すフレイルを予防することが大切です。栄養(適切な食事のバランス、歯や口腔の定期管理)、体力(よく歩く、可能なら筋力トレーニングをする)、そして社会活動(就労や余暇活動、友人と食事に出かける、など)という3つの柱が、健康長寿のために大切であるとされています。一方、年齢をかさねると、「おしっこが出づらい(尿勢低下)」「夜に何度もおしっこに起きる(夜間頻尿)」「急に尿意をもよおして慌ててトイレに行く(尿意切迫)」「おしっこが漏れる(尿失禁)」といった排尿に関するお悩みや、前立腺癌をはじめとした悪性疾患が、健康長寿を目指すみなさんの人生を妨げるかもしれません。



前立腺肥大症とは？

前立腺肥大症は、加齢とともに前立腺が肥大する男性特有の疾患です。前立腺は膀胱の出口のところで尿の通り道(尿道)を取り囲むようにして存在している臓器のため、前立腺が肥大すると尿道が押しつぶされて狭くなり、排尿の勢いが低下するほか、膀胱の負担が増えて膀胱の過敏性が高まることで頻尿や残尿感の原因となります。治療は投薬を行うことが一般的ですが、お腹を切らない内視鏡手術により治療することも可能です。

今年の夏より、当院はあらたに前立腺肥大症に対して経尿道的水蒸気治療ができる道東唯一の施設となりました。経尿道的水蒸気治療は高温の水蒸気を用いて肥大した前立腺組織を退縮させる治療法で、従来の経尿道的前立腺切除術と比較して短時間で施術が可能であり、体への負担が小さい新しい手術方法です。したがって、ご高齢な患者様や他の合併症の多い患者様にも安心してお選びいただけます。

前立腺癌とは？

前立腺癌は、男性の罹患率をもっとも高い癌です。近年では健康診断においてPSA(前立腺癌のマーカー)の採血測定がなされる機会が多くなり、早期発見により根治を目指すことができるようになってきました。前立腺癌の根治治療にはおもに手術療法、放射線療法があり、当院ではいずれの治療法も選択することができます。

当院は昨年秋より最新の手術支援ロボット設備(ダ・ヴィンチ Xi)が導入され、ロボット支援前立腺全摘除術を施行できる施設となりました。従来の開腹手術と比較し、ロボット支援によってより少ない出血、小さな侵襲での手術が可能となったため、より安心して前立腺全摘除術を受けていただくことができるようになりました。

過活動膀胱とは？

過活動膀胱は膀胱の過敏性が高まってしまう疾患であり、頻尿や切迫性尿失禁の原因となります。女性に多い疾患ですが、「おしっこの症状を言うのが恥ずかしい」「泌尿器科は男性が行くところ」と、泌尿器科を受診されず我慢してしまう女性が多いようです。生活習慣の改善により肥満やフレイルを予防すると症状緩和に繋がりますが、加えて泌尿器科の専門医師による適切な投薬により、多くの方の症状が改善します。

ぜひ、排尿症状に左右されない健やかな生活のため、泌尿器科にお気軽にご相談ください。けっこう、泌尿器科に通院しておられる女性の患者様は多いです。

このように、泌尿器科は排尿に関連した疾患の内科的治療・外科的治療を通じて地域のみなさまにより若々しく、健やかに過ごしていただくためのサポートを日々しております。どうぞお気軽に、年齢問わず、泌尿器科にご相談ください。



泌尿器科部長 山本 祥太

- ・医学博士
- ・日本泌尿器科学会 専門医
- ・日本抗加齢学会 専門医